

はじめに

この度、令和5年度（2023年度）の業務内容および調査研究の成果を「熊本市環境総合センター年報（第31号）」として取りまとめました。ご高覧いただき、ご指導・ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

当センターは、本市の保健衛生行政や環境行政を科学的・技術的に支える中核機関として様々な行政検査や調査研究を実施しており、環境学習の拠点としての機能も有しております。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）につきましては令和5年5月に5類感染症となり、行政検査として実施してきたPCR検査はようやく終わりを迎えることができました。しかしながら、同ウイルスの流行は継続しており引き続き定期的なゲノム解析を実施し、変異の状況を把握してまいります。加えて、新たな感染へ備えて令和6年4月には熊本市予防計画及び熊本市健康危機対処計画を策定しており、今後も感染症に対する検査体制を強化し、科学的かつ中核となる機関としての役割を担ってまいります。

また、熊本県においては半導体関連企業の進出に伴い、地下水をはじめとする自然環境の保全に関心が高まっています。これらの環境問題に対しても迅速で正確な検査業務を実施し、科学的なデータを提供してまいります。

今後とも熊本市民が安全・安心に暮らすことができる生活環境を守るため、検査業務を遂行していくとともに、食品の安全性確保や環境汚染に関する検査対応、また新しい生活様式を取り入れた環境学習の実施などを検討してまいりたいと考えておりますので、引き続きのご支援及びご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年（2024年）12月

熊本市環境総合センター所長 近藤 芳樹